

I肺がん32

対象疾患	非小細胞肺がん	レジメン名	Ram+DTX療法		
1コースの期間(休薬期間含む)		21日			
総コース数		制限なし			
Rp.	薬剤名	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
1	生食100 mL(ルートキープ用)	1 P	点滴静注	ゆっくり	day 1
2	ジフェンヒドラミン10 mg	5 T	経口		day 1
3	生食100 mL	1 P	点滴静注	30分	day 1
	デキサメタゾン6.6 mg	1 V			
4	ラムシルマブ(Ram)	10 mg/kg	点滴静注	60分 ※備考欄参照	day 1
	生食250 mL	1 P ※備考欄参照			
5	生食50 mL(フラッシュ用)	1 P	点滴静注	全開	day 1
6	ドセタキセル(DTX)	60 mg/m ²	点滴静注	60分	day 1
	生食250 mL	1 P			
7	生食50 mL(フラッシュ用)	1 P	点滴静注	全開	day 1
8	ペグフィलगラスチム3.6 mg	1 kit	皮下注		day 3
血管外漏出 リスク分類	Ram: 非炎症性 DTX: 壊死性				
催吐性リスク分類	レジメン全体:軽度(Ram: 最小度 DTX:軽度)				
インラインフィルター の要不要	Ram投与のため、0.2又は0.22 μmのインラインフィルターを使用				
備考欄	※Ramは、採取量と同量の生食を予め抜き取り、希釈時に本剤と生食の合計が全量250 mLとなるように希釈する。 ※ジフェンヒドラミンは、Ram投与前に内服する。 ※Ramの2回目以降は、初回時に忍容性が良好であれば投与時間を30分まで短縮可能である。				